

第58回

熊本県学校保健研究協議大会

報告



ユネスコ無形文化遺産 八代妙見祭の神幸行事(亀蛇)

主 催 公益財団法人熊本県学校保健会 熊本県教育委員会
八代市教育委員会 水俣市教育委員会
氷川町教育委員会 芦北町教育委員会 津奈木町教育委員会
主 管 八代学校保健会 芦北・水俣学校保健会

ご あ い さ つ

第58回熊本県学校保健研究協議大会を八代学校保健会並びに芦北・水俣学校保健会主管のもと八代市公民館を主会場に開催しましたところ、県下各地から300人を超える多数の御参加を得て、盛会のうちに終了することができました。

本大会では、健康教育に携わる関係者が一堂に会し、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」を研究主題として、特別講演及び班別研究協議会を行いました。

開会行事では各挨拶のあとに県学校保健会表彰が行われ、学校保健の推進に著しく貢献された個人6名の方に表彰楯が授与されました。

特別講演では、東海大学体育学部体育学科 教授 森 良一氏を講師としてお迎えし、「これからの学校保健～新しい学習指導要領の改訂を踏まえて～」の演題で御講演いただき、現代的な健康課題に対する具体的な学習内容や配慮点について詳しくお話しいただきました。会場からは「教育における不易と流行という言葉がありますが、どんなに時代が変わっても教育基本法に基づき、健康な児童生徒を育成しなければならないという不易の部分に再認識しました。また、がんや精神疾患などの現代的な健康課題への教育に対しては、時代の変化とともにしっかり教育していく必要を感じたところです。」等の感想が出されたところです。森先生からご示唆いただいたことを明日からの教育に生かし、生涯にわたって心身の健康を保持できる児童生徒の育成につなげていただきたいと思います。

午後からは、6つの班別研究協議会が行われました。今日の重要な健康課題に沿って各班2本の実践発表があり、発表内容をもとに活発な意見交換が行われました。

本大会を通して、学校のみならず家庭や地域社会・関係機関等との連携を深めながら、子どもが自ら健康課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる「生きる力」を身につけた子どもの育成の重要性を改めて確認することができました

終わりにになりましたが、本大会の開催に当たり、物心両面にわたり御支援御協力を賜りました八代学校保健会並びに芦北・水俣学校保健会をはじめ関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、皆様の益々の御活躍を祈念し、ごあいさつといたします。

令和元年

公益財団法人熊本県学校保健会

会 長 福 田 稔

【 概 要 】

《開会式》

八代学校保健会の寺田佐誉子会長の開会のことばに続き、主催者として公益財団法人熊本県学校保健会の伊藤明彦副会長（熊本県歯科医師会長）、熊本県教育庁教育指導局体育保健課の平江公一審議員から挨拶が行われた。



開会のことば

主催者挨拶

主催者挨拶



歓迎の言葉

次期開催地挨拶

閉会の言葉

次に、開催地を代表し八代市の田中浩二副市長から歓迎の言葉をいただいた。

続いて、来年度開催地を代表し、山鹿市学校保健会の工孝幸会長の挨拶後、芦北・水俣学校保健会の古田利也会長の閉会の言葉で開会式を閉じた。

《表彰式》

開会式に続き、令和元年度熊本県学校保健会表彰を行った。

この表彰は、熊本県学校保健会並びに各学校保健会、養護教諭研究会の活動を通して、健康教育の充実・発展のため著しく貢献された個人と団体を表彰するもので、本年度は個人6人の方々に伊藤明彦副会長から表彰盾が授与された。授与者を代表して、西原中学校養護教諭（県養護教諭研究会前会長）奥井誉子先生が挨拶をされ、表彰式を無事終了した。



《特別講演》

東海大学体育学部体育学科 森良一教授により「これからの学校保健～新しい学習指導要領の改訂を踏まえて～」と題し、特別講演が行われた。

今回、学習指導要領を検討する中教審で、議論された経緯を受け、学習指導要領の改訂から学校保健を考えるというテーマでお話をいただいた。

参会者からは、「健康教育について学習指導要領を確認しながら学ぶことができ勉強になった。

また、近年の健康課題（がん教育、精神疾患等）

についても詳しく教えていただき参考になった。今後の健康教育にいかしていきたい。」
「新学習指導要領のポイントを簡潔にわかりやすく話していただき、大変ありがたかった。小中高の見通しを持つことができた。」等の感想が多数寄せられた。

90分の講演があつという間に過ぎ、もっとお話を聞きたかったとの感想もあり、森良一先生にはご多忙の中、私たちのためにたいへん貴重なご講演をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。



《班別研究協議会》

午後からは6つの班に分かれて研究協議が行われた。

【1班：学校経営・組織活動】助言者 熊本市立竜南中学校 海津 英孝 校長

『心豊かにたくましく生きる力をはぐくむための

特色ある学校経営と組織活動の進め方』

○「健康教育を核にした学校経営の実践」

～緑東中で学んでよかった～

水俣市立緑東中学校 校長 山田 哲郎

○「児童・生徒の自己肯定感を育む小中一貫教育の推進」

～施設一体型小中一貫教育校の特色を活かして～

宇城市立豊野小・中学校 校長 本村 由紀博

【2班：学校安全・環境衛生活動】助言者 山鹿市立鹿北小学校 工 孝幸 校長

『生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うための安全教育及び

快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方』

- 「自ら気づき、判断し、行動する児童の育成」

～防災の視点で創る教育活動を通して～

山都町立矢部小学校 教諭 上土井 亨

- 「危険回避能力を育む安全教育の推進」

～主体的・対話的で深い学びのある授業・学校行事を通して～

熊本市立出水南小学校 教諭 酒井 直孝

【3班：心の健康・健康相談】

助言者 八代教育事務所 守田 典子 スクールソーシャルワーカー

『豊かな人間性と社会性をはぐくみ、

心の健康の保持増進を目指す健康教育・健康相談の進め方』

- 「すべての生徒が自己理解を深め、自己実現を図ることができるために」

～泉分校生の変化を共有する教育環境の充実を目指して～

熊本県立八代農業高等学校泉分校 教諭 緒方 憲明

- 「自尊感情を高めるために養護教諭としてつないできたこと」

～児童生徒の健やかな心と体を育む支援体制とは～

山鹿市立平尾城小学校 養護教諭 隈部 弥生

山鹿市立菊鹿小学校 養護教諭 吉川 亜希子

【4班：性に関する指導】助言者 熊本市立楡木小学校 原山 照美 校長

『生涯を通じて健康な生活を営むための

資質や能力を育てる性に関する指導の進め方』

- 「性に関する指導年間指導計画の立案について」

～本音を引き出し、深まりある指導を目指して～

熊本市立帯山中学校 教諭 上野 裕史

- 「教職員が取り組みやすい性に関する指導」

～視覚に訴える教材の開発を通して～

菊陽町立菊陽中部小学校 養護教諭 角田 亜紀

菊陽町立武蔵ヶ丘中学校 養護教諭 荒巻 亜希子

【5班：歯・口の健康づくり】助言者 熊本県歯科医師会 宮崎 修一 学校歯科委員

『確かな健康観と実践力を育てる歯・口の健康づくりの進め方』

○「子どもが主体的に参加する給食後の歯みがきタイムのルールづくり」

～自分の健康は自分で守る子どもの育成をめざして～

阿蘇市立内牧小学校 養護教諭 藤嶋 由紀子

○「自ら課題を見つけ、進んで歯・口の健康づくりに

取りくむことのできる児童の育成」

～歯・口の健康づくり研究推進校としての実践を生かして～

天草市立河浦小学校 養護教諭 福本 優子

【6班：保健教育】助言者 熊本市立田底小学校 福富 和博 校長

『心身の健康を保持増進するために、具体的な健康問題について考え、

実践できる保健教育の進め方（喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育も含む）』

○「学校薬剤師、養護教諭と連携した新しい授業づくり」

～（主体的・対話的・深い学び）を目指して～

熊本県立熊本農業高等学校 教諭 林 健太郎

○「食育と歯科保健の充実をめざして」

～栄養教諭とともに行った保健教育の場の設定を中心とした取組～

相良村立相良南小学校 養護教諭 仲嶺 敦子

